

## ■ 祈りについて

### 【祈りとは】

●感謝

●お詫び<sup>わ</sup>

●下座<sup>げざ</sup>

5

- ・ 祈りのコツは声に出す事。  
声に出すことにより、祈りが宇宙に響きます。  
声の大きさは通常の会話くらいで良いです。  
声の大小で祈りの効果に違いはありません。

10

- ・ 周りの聞かれたく無い時は、無声音<sup>むせいおん</sup>(息だけの声)でも有効です。
- ・ 自分の都合の良い時にだけ行うのではなく、朝晩祈りましょう。
- ・ 祈りの内容は具体的に神へ詳細に説明すると、閃き<sup>ひらめ</sup>の受信感度が向上します。  
⇒曖昧な内容では、たとえ神々に祈ったのであっても伝わりにくいのです。
- ・ 他人の救われを祈る事は、『真理』に<sup>かな</sup>適っています。詳しい方法は《89P》にて解説
- ・ 過去形にするのも良いです。(例：こんなに早く救って<sup>いただ</sup>戴いて、ありがとうございます。)

20

- ・ 『神』への祈りは、“『神』の御用にお使い頂きたい”は聞き入れて<sup>いただ</sup>戴けます。
- ・ “〇〇を叶えて下さい”等は、祈りとは言いません。自己中心的な祈りだと、神に見向<sup>かみ</sup>きすらされません。

25

- ・ 同じ内容を幾日も続けて祈る“くどい祈り方”は、逆効果になります。

★ 過去に行った行為、想いなど誤っていた事を認識・自覚し、反省・お詫び・感謝をする事で救われます。

30

### 【具体的な祈り方について】

神に通じる祈りと、通じない祈り

35

例) 病気の場合

悪い例：神に通じない祈り

40 神様、助けて下さい、私の病気を早く治して下さい。宜しくお願し致します。

★ 必要だからその状況にさせているので、いくら助けて下さいと祈っても、聞いて<sup>いただ</sup>戴けません。